

# IV 参考資料

## 1 大気

### (1) 環境基準

昭和53年7月11日環境庁告示第38号

区分	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )
環境基準	1時間値の1日平均値が <b>0.04ppm</b> 以下であり、かつ、1時間値が <b>0.1ppm</b> 以下であること。	1時間値の1日平均値が <b>10ppm</b> 以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が <b>20ppm</b> 以下であること。	1時間値の1日平均値が <b>0.10mg/m<sup>3</sup></b> 以下であり、かつ、1時間値が <b>0.20mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。	1時間値の1日平均値が <b>0.04ppm</b> から <b>0.06ppm</b> までのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値が <b>0.06ppm</b> 以下であること。
長期的評価	年間にわたる1時間値の1日平均値の2%除外値が <b>0.04ppm</b> 以下。	年間にわたる1時間値の1日平均値の2%除外値が <b>10ppm</b> 以下。	年間にわたる1時間値の1日平均値の2%除外値が <b>0.1mg/m<sup>3</sup></b> 以下。	年間にわたる1時間値の1日平均値の98%値が <b>0.04ppm</b> から <b>0.06ppm</b> までのゾーン内又はそれ以下であること。	/
	年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外したもの(1日平均値の年間2%除外値)について行う。 ただし、1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、環境基準に適合しないこととする。			年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの(1日平均値の年間98%値)について行う。	
短期的評価	1時間値の1日平均値が <b>0.04ppm</b> 以下であり、かつ、1時間値が <b>0.1ppm</b> 以下であること。	1時間値の1日平均値が <b>10ppm</b> 以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が <b>20ppm</b> 以下であること。	1時間値の1日平均値が <b>0.10mg/m<sup>3</sup></b> 以下であり、かつ、1時間値が <b>0.20mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。	/	1時間値が <b>0.06ppm</b> 以下であること

(備考) 長期的評価にあつては、年間の測定時間が6,000時間未満の場合は評価対象としない。

平成13年4月20日 環境庁告示第30号

物質	ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン
環境基準	1年平均値が <b>0.003mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。	1年平均値が <b>0.2mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。	1年平均値が <b>0.2mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。	1年平均値が <b>0.15mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。

平成21年9月9日 環境省告示第33号

物質	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )
環境基準	1年平均値が <b>15 μg/m<sup>3</sup></b> 以下であり、かつ、1日平均値が <b>35 μg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。

※ 工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域又は場所については、適用しない。

※ 微小粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であつて、粒径が2.5 μmの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。

※ 達成期間 微小粒子状物質による大気の汚染に係る環境基準は、維持され又は早期達成に努めるものとする。

## (2) 板橋区環境監視システム 大気監視装置の概要

測定物質	測定装置名称	測定方法	測定範囲※1	測定記録※2	仕様の概要
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	二酸化硫黄 測定装置	紫外線蛍光法	5レンジ 自動切替 (0~0.05ppm)	瞬間値 ○1時間平均値	乾式法
オキシダント (O <sub>x</sub> )	オゾン 測定装置	紫外線吸収法	4レンジ 自動切替 (0~0.2ppm)	瞬間値 ○1時間平均値	乾式法
浮遊粒子状物質 (SPM)	浮遊粒子状物質 測定装置	ベータ線吸収法	2レンジ 自動切替 (0~1mg/m <sup>3</sup> )	○1時間平均値	ベータ線源: 密封分粒方式 (サイクロン式)
微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )	微小粒子状 物質(PM <sub>2.5</sub> ) 測定装置	ベータ線吸収法	3レンジ 自動切替 (0~500μg/ m <sup>3</sup> )	○1時間平均値	ベータ線源: 密封分粒方式 (サイクロン式)
一酸化窒素 (NO) 二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	窒素酸化物 測定装置	化学発光法 (ケルミネスセンス法)	5レンジ 自動切替 瞬間値 (0~0.2ppm) 1時間平均値 (0~0.1ppm)	瞬間値 ○1時間平均値	流路切替方式
一酸化窒素 (CO)	一酸化炭素 測定装置	ガスフィルター相 関法	5レンジ 自動切替 (0~10ppm)	瞬間値 ○1時間平均値	赤外線吸収方式
騒音(NL)	騒音測定装置	コンデンサ型マイ クロホン方式	25~138dB(A)	Lx(L5~L95) ○Laeq(1時間 値)	計量法普通騒音 計(JIS C1509-1 2017 クラス2)
風向(WD)	気象観測装置	矢羽プロペラ法	540度 全方位型	瞬間値 ○平均値(10分 間の移動平均)	検定証明済み (風車型風速計 の感部)
風速(WV)			0.4~20m/s		
温度(TEMP)		測温抵抗体方式	-20~40℃	○瞬間値	検定証明済み (電気式温度計 の感部)
湿度(HUM)		静電容量方式	0~100%	○瞬間値	検定証明済み (電気式湿度計 の感部)

※1 カッコ内は測定に用いたレンジ設定。

※2 ○印はホームページ「板橋区大気情報公開システム」に公開する数値の測定方法